

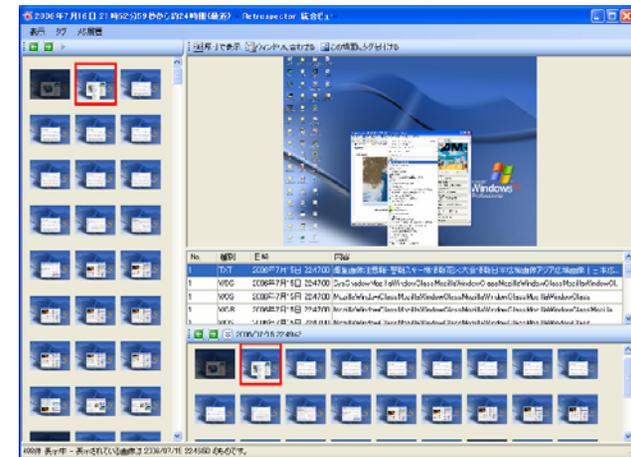
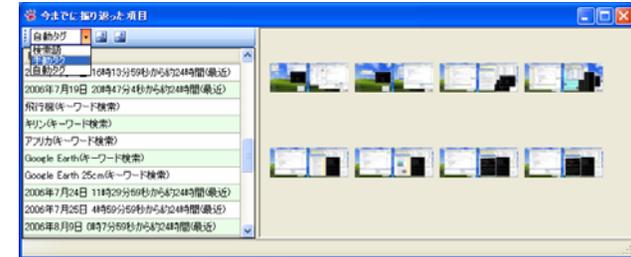
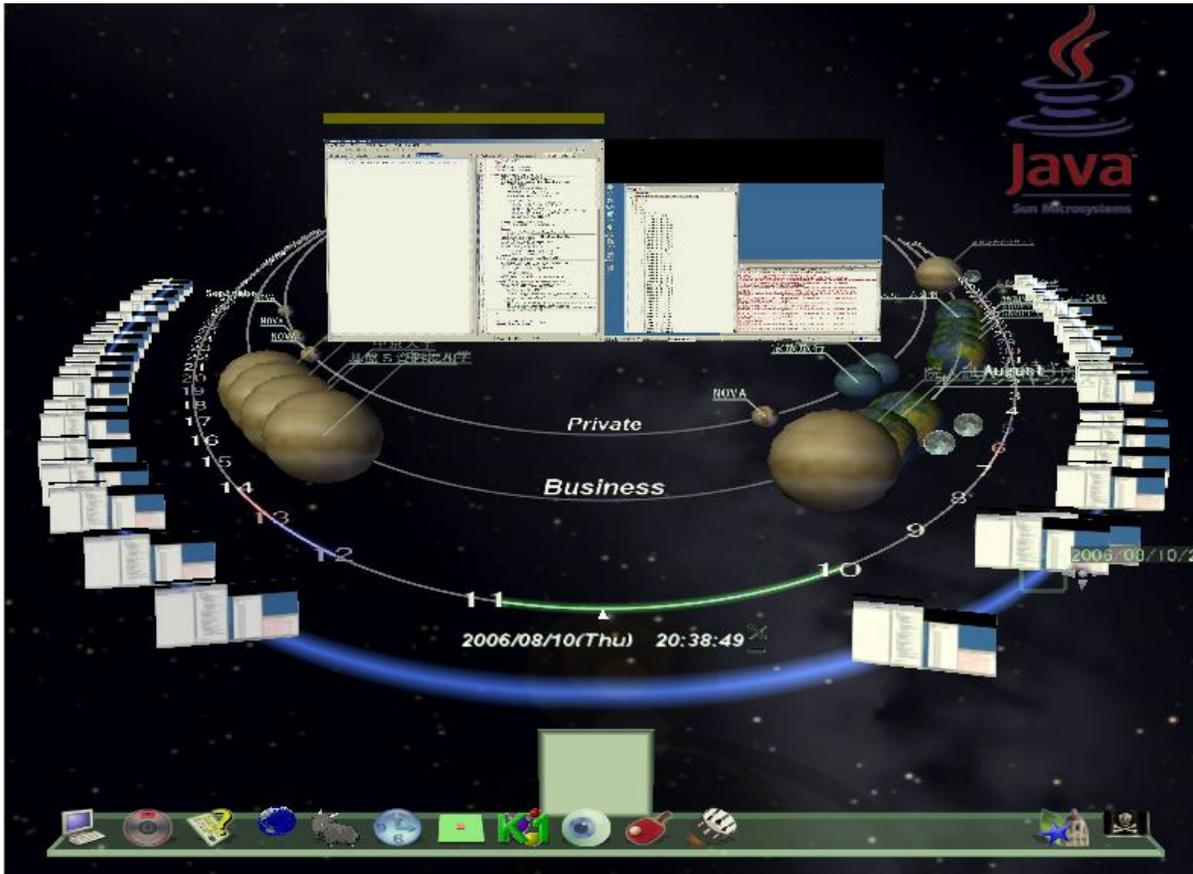
履歴の高度利用のための3次元GUIベースの情報環境の開発



2005年度第2回未踏ソフトウェア創造事業 近藤秀樹(中京大) 小出洋(九工大)

<http://necologger.mind.sist.chukyo-u.ac.jp/>

<http://k-www.mickey.ai.kyutech.ac.jp/cosmo/>



PC上での活動履歴をスケジュール情報などでタグ付けて構造化し、3次元的に視覚化できるシステムを開発した。その結果、長期間にわたる過去の一連の活動のまとめを取り出し、自分の過去を一度に振り返ることができるようになり、当面の問題解決に再利用することができるようになった。

例えば...

締め切りに向けて、何週間かにわたって調査や分析を行い、報告書を書いた。(例: 未踏成果報告書提出) その合間にも、メールでの問い合わせに返事を書いたり、ミーティングの議事録を取ったり、同僚の仕事を手伝ったりした。

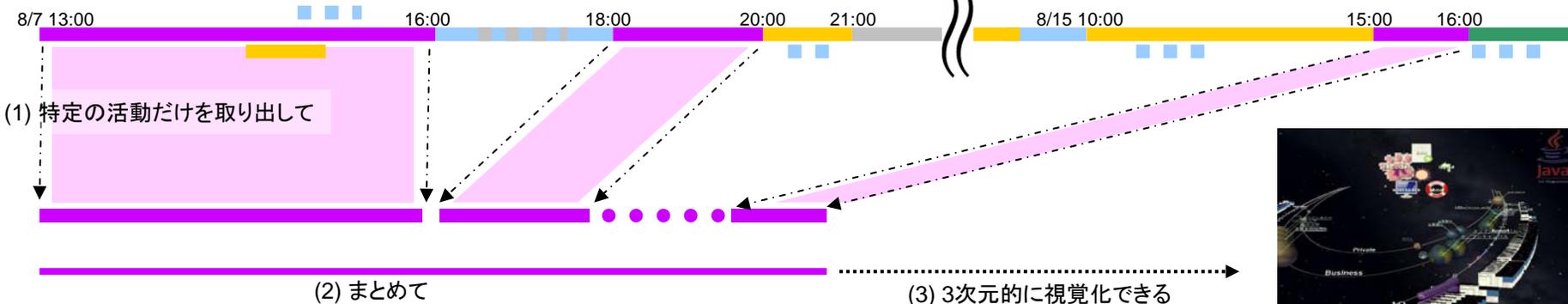
数ヵ月後、以前の報告書に似た仕事をもう一度やることになった。(例: 論文誌論文提出) 過去の報告書に関わる活動全体を取り出せれば、そこから以前の調査内容や分析の過程を参考にできると思われる。しかし何週間にもわたって少しずつやったことなので、活動全体を一度に振り返ることができない。

そこで...

活動を行うときにスケジュールでタグを付けておく
活動を振り返りながら手動でタグを付ける
振り返った活動に自動的にタグを付ける

→ 複数のタグを重複して付与しても良い

■ 未踏成果報告書提出
■ 息抜きにWWW巡回
■ メールサーバ構築
■ プリンタ故障対応



特徴

- タグのついた活動だけを取り出すことで、必要な箇所だけを取り出して、まとめることができる。
- 活動のまとまりを合算すれば、かかった時間の目安が分かる。
- 3次元的に視覚化するため、時間の流れのイメージをつかみやすく、活動を一度にブラウズできる。